



奥会津だより

奥会津 こども 聞き書き百選1 ～一枚の写真から～

じいちゃんありがとう

昨年夏 奥会津の小学校・中学校・高等学校の生徒さん一五名が、一枚の写真を手がかりに家族や近しい人にひたむきに向かい合い、昔の話を聞き書きしてくれました。こどもたちの懸命な耳と目が、多くの記憶をたくり寄せ、人生の尊い時間を共有しました。

その中の一篇を紹介します。

また、3月末には「奥会津 こども 聞き書き百選1～一枚の写真から～
じいちゃん ありがとう」という一冊の本として誕生します。



じいちゃんと戦争

柳津町立西山中学校 3年 長谷川勝広

年齢か。72だ。昭和11年2月15日生まれで、満で72だ。

おもしろかったことは、友達と若松に行って、動物園とサーカス見に行ったことだ。その頃はサーカスとか来てたからなあ。

写真？この写真は昭和16年の時だから5歳の時だな。家族は5人だった。

つらかったことか。戦争の時か。小学4年の頃だな。殺されんでねえかと思つて怖かった。B29飛んでくると、山の中さ逃げて勉強とかやった。弁当は米の飯なんかねえから、カボチャの煮たのとか食つてた。

言いたいことか。言いたいことなんかねえ。ただ、明るい世の中になつてくれればいい。戦争なんかねえ、明るい世の中になつてくれれば、それだけでいい。

祖父の章一の話聞いていて、昔は、今の何倍も大変な苦勞をしてきているんだなあと思いました。もし、じいちゃんが戦争で亡くなっていたら、僕はいないんだなと感じました。今みたいな、平和で幸せな日々が永久に続いてくれたらいいなあと思いました。

なつかしい風景

◆農の風景



写真・文 竹島善一
昭和40年代後半より現在まで、奥会津各地の暮らしを写真で記録している。(東京在住)

昭和60年4月 柳津町久保田

タバコは山間地の農家で広く栽培されていた。人手に対して水田の少ない地域では重要な収入源だったからである。

ビニールハウスで共同育苗された苗を、耕作農家が持分にに応じて分配する。パレットに蒔かれた種が均質に育つわけではない。そこで、クジで取り順を決めるのである。農村を歩いて感心するのは、住民相互が何事の際にも平等に参加する仕組みが巧みにできていることである。

運と自分の目で選んだパレットには、順に各々が名札を押し、ここからは自分のタバコになる。

葉タバコは典型的な労働集約型作物である。ここからが大変だ。

苗配りのクジ引きは大事な出発点であるが、それを楽しんでいる。

奥会津の花の点描



ミチノクエンゴサク(けし科)

早春、地面を青く染めるほど咲き競います。名前の由来は、漢方薬の「延胡索」から。

奥会津

つれづれ

今冬は雪が少なかった。もちろん雪も降ったのだが、雨の日が多かったように思う。雪が降りたくても、降れないそんな風を感じた。

家の花壇ではチューリップが芽を出し始め、庭の福寿草も顔をのぞかせている。例年の様子からは約1ヶ月も早いのである。このままでは桜の開花も早くなるだろう。

奥会津の桜は、柳津町〜三島町〜金山町〜昭和村〜只見町〜南会津町〜檜枝岐村と少しずつ開花時期が異なっている。始まりの柳津町と檜枝岐村では約1ヶ月ほどの開きがあり、通常4月中旬〜5月中旬まで桜が楽しめるのだが…今年は何？

奥会津つれづれに拙い文を綴らせていただいたから、早や2年が経とうとしている。思い感じること、協議会で実施している事業のことなどを書くのに締切りぎりぎりまで粘り何とか載せていただけてきた。4月から事務局も只見町から三島町へ移転となり、次号からはまた新たな視点のつれづれが綴られていくこととなる。

この生まれ育った奥会津から上京し、Uターンしてきて目に映った奥会津は、子供の頃に思っていた奥会津ではなく、素晴らしいものとして見えた。この奥会津の風景は桜の開花時期と同じようにその町、村で少しずつ変わっていく。そんな奥会津をこれからも目で耳で五感で再発見していきたい。(み)

会津駒ヶ岳は作家・深田久弥が日本百名山の一つに選び、今では大変な人気の山になった。

確かに山麓のブナ林、高層湿原のお花畑、会津の山々の展望と名山に相応しい山である。

しかし大勢の登山者が登り下りするために、登山道は幅広く切り開かれ、登山道脇にあるどのブナの幹にも刃物で名前が切り刻まれている。それゆえブナからは澁刺とした生気が感じられない。会津駒ヶ岳が持っている本来のブナ原生林の雰囲気



会津駒ヶ岳

味わうには残雪期に標高約1500m付近から残雪を利用してブナ林の中に入り込むことだ。登山道から少し中に入るだけで白い樹肌の生き生きとしたブナ達が出迎えてくれる。ここはブナの竜宮城でブナ乙姫様を初め淑女達が出迎えてくれているような錯覚を覚える。それほど格調が高く、美しいブナ林だ。会津駒ヶ岳への登山ルートに檜枝岐のキリンテから大津岐峠を経て至るルートがある。このコースは道程が長いため歩く人は少ない。このルートは急斜面をジグザグに登っていくが、標高1588mの小ピーク近くになると平坦な台地が現れ、白い樹肌のブナが林立するようになる。静かなブナ林ならこのルートがよいだろう。

アプローチ	
会津高原駅から尾瀬御池行きバスで滝沢橋まで約1時間半、キリンテまで1時間40分	
(約40分)	(1時間半)
滝沢口	登山口
標高約1500m	
(1時間半)	(15分)
駒の小屋	会津駒ヶ岳
(約1時間半)	(約1時間半)
キリンテ	標高1588m台地
大津岐峠	

◆著者プロフィール
1942年生まれ、ブナをライフワークテーマとする、日本全国約500ヶ所のブナ林を訪ね歩いてきて、「ブナの山旅」(山と渓谷社)を出版、会社生活を卒業後は、ブナライフに徹するために生活拠点を会津若松市に移し、奥会津や東北各地のブナ林巡りを続けている。

奥会津の名山 05

博士山

標高1482m、一等三角点の名「博士山」は会津美里町・昭和村そして柳津町の境界点となっていて、3町村の最高地点である。

名山の由縁は飯豊、猫魔、貉ヶ森、浅草、土埋、七ヶ岳、会津駒ヶ岳等、重要な山々を遠望する事ができる他に、「会津」の名の発祥とされる「伊佐須美神社」の遷宮伝説による。御神楽岳から博士山、明神ヶ岳を経て、終いに会津美里町高田宮林甲に鎮座したのは欽明天皇13年(552年)とされ、奥院である石祠は明神ヶ



博士山

岳の山中に現存する。会津の古代史における大和朝廷と豪族の勢力の変遷を思わせる縁起である。「博士」とは「太刀を佩いて」山筋ぞいに大和の武力が到来したという説と他に、大同年間(806〜810年)山麓に「博士山近洞寺」があったからという説がある。いずれにしても、会津の歴史の奥深さを示す。

その博士山に京都大学理学博士で「今西進化論」等で著名な今西錦司博士(1902〜1992年)が登頂されたのは昭和54年(1979年)5月6日のことであつた。77歳の時で会津の岳人たちは山中でのお元氣と健啖とお酒の強さに驚いたものである。

毎年5月の第3日曜日に柳津町大沢沢で山開きが行われ、3000人を超す登山客で賑わう。近洞寺の僧道海が修行のきびしさに泣いたという「道海泣尾根」の「石楠花洞門」の辺は、アズマシヤクナゲの花が美しく咲き、名所として知られている。

◆著者プロフィール
1940年秋田市生まれ、秋田大学鉱山学部機械工学科卒業、玉川機械金属(現三菱伸銅)若松製作所に就職、山岳部を創立。主将、部長を経て2000年退職。日本山岳会、南会津山の会に所属し、尾瀬国立公園自然指導員、著書「山を訪ねて」(燈台会津篇)共著「会津百名山ガイド」神々が宿る森「会津」新版「会津の峠」等

平成21年3月末

『奥会津
食・お土産
ガイドブック』

刊行の
お知らせ

〈お取り寄せ方法〉

返信用封筒(A5サイズ以上)を用意
↓
290円分の切手を貼付
お届け先のご住所・お名前を明記
↓
返信用封筒を下記までお送り下さい。
※発送は4月中旬以降となります。

〒969-7511
大沼郡三島町大字宮下字宮下350
三島町役場産業建設課内
只見川電源流域振興協議会事務局
"食のガイドブック"係

方言クイズ

クイズに答えて奥会津の
地場産品を買おう!

問題: 次の方言の意味は何でしょう?

「おもしろかったこと」 ヒント: 表紙参照

正解者の中から抽選で2名様に南会津町館岩の「赤カブ漬け」をプレゼントいたします。

●応募方法: 官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先: 〒969-7511
福島県大沼郡三島町
大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切: 2009年3月25日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。
※クイズの答えは次号52号で発表いたします。

◎50号「くんつえ」の答え: ください

たくさんのご応募ありがとうございました!



お知り紹介

●50号おめでとうございます。49号から送って頂いておりましたが、「もっと早く知ってれば…」との思いを強くしておりました。ですから今回の表紙には感激です!1号からの写真が全部載っていて、じっくりと拝見しました。大切にします。(福島市 K.Nさん)

●第50号記念誌発行、まことにおめでとうございます。表紙が素晴らしい一言で、奥会津のよさが大変出ていて10年間の歴史が深く感じられます。「未来への贈り物」の対談「聞き書き〜未来に繋げる仕事」では感動し、益々奥会津が好きになりました。(檜枝岐村 H.Tさん)

●50号記念対談の中で「聞き書き」というものを知り、子どもたちだけでなく私もやってみたくと思いました。昭和村に嫁に来た家はおじいちゃんが開拓者だったり、今おじいちゃんが生きている間にやってみたくと思います。(昭和村 K.Aさん)

事務局移転のお知らせ

平成21年4月1日より、事務局が下記へ移転となります。

新事務局 〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350 三島町役場 産業建設課内
電話0241-48-5533 FAX 0241-48-5544

お問合せは平成21年4月1日より新事務局へお願いいたします。

なお、ホームページ、メールアドレスは従来通りです。

HP <http://www.okuaizu.net> メール webmaster@okuaizu.net



4月 5月 6月 7月 奥会津イベント情報

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
4月11日(土)午後3時~	千葉之家花駒座新春歌舞伎公演	檜枝岐村	檜枝岐村東雲館4階大ホール(檜枝岐村公民館)	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
4月25日(土)	燧ヶ岳春山トレック	檜枝岐村		尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
4月26日(日)	会津駒ヶ岳春山トレック	檜枝岐村		尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
4月26日(日)	妻害山トレッキング	只見町		只見町観光まちづくり協会 0241-82-5250
4月29日(水)	沼沢湖周辺施設オープン	金山町	沼沢湖周辺施設オープン	金山町観光協会 0241-54-2311
5月3日(日)・4日(月)・5日(火)	風っ子会津只見号		只見線(会津若松~只見)	
5月4日(月)	山椒山山開き	南会津町館岩	木賊温泉「広瀬の湯」前	南会津町観光協会館岩観光センター 0241-78-2546
5月5日(火)	長仰山山開き	南会津町館岩	木賊温泉「広瀬の湯」前	南会津町観光協会館岩観光センター 0241-78-2546
5月4日(月)予定	第6回水芭蕉まつり	昭和村	小野川地区、水芭蕉としらかばの杜	昭和村観光協会 0241-57-3100
5月12日(火)	愛宕神社祭奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
5月16日(土)~17日(日)	第2回尾瀬檜枝岐ヒルクライム	檜枝岐村		尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
5月17日(日)	第44回博士山山開き	柳津町	式典会場:博士山麓登山口	柳津町B&G海洋センター 0241-42-2246
5月20日(水)	尾瀬山開き(御池)	檜枝岐村	御池	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
5月23日(土)・24日(日)	SL会津只見新線号		只見線(会津若松~只見)	
5月31日(日)予定	御前ヶ岳登山	昭和村	大芦地区畑小屋 御前ヶ岳登山道入口前	昭和村観光協会 0241-57-3100
5月31日(日)	大嵐山・湯ノ倉山山開き	南会津町館岩	湯ノ花温泉「交流センター」集合	南会津町観光協会館岩観光センター 0241-78-2546
6月7日(日)	蒲生岳山開き	只見町		只見町役場産業振興課交流推進班 0241-82-5240
6月7日(日)	田代山山開き	南会津町館岩	猿倉登山口集合	南会津町観光協会館岩観光センター 0241-78-2546
6月7日(日)	山の幸山菜まつり	只見町	塩沢農村公園	只見町観光まちづくり協会 0241-82-5250
6月7日(日) 午前6時50分	御神楽岳山開き	金山町	御神楽岳(金山町役場集合)	金山町観光協会 0241-54-2311
6月13日(土)	佐倉山山開き	南会津町館岩	旧上郷小学校集合	南会津町観光協会館岩観光センター 0241-78-2546
6月14日(日)	七ヶ岳山開き	南会津町館岩	木工センター集合	南会津町観光協会館岩観光センター 0241-78-2546
6月13日(土)~28日(日)	帝釈山・台倉高山「オサバ草祭り」	檜枝岐村	帝釈山・台倉高山	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
6月14日(日)	会津朝日岳山開き	只見町		只見町役場産業振興課交流推進班 0241-82-5240
6月20日(土)予定	第15回ひめさゆり祭	南会津町南郷	南会津町界「高清水自然公園管理棟付近」	南会津町観光協会南郷支部 0241-72-2112
6月20日(土)~21日(日)	エクストリームシリーズ2009 尾瀬檜枝岐大会	檜枝岐村	檜枝岐村七入	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
6月28日(日)	溪流釣り大会	南会津町館岩	湯ノ花温泉(湯ノ花温泉街集合)	南会津町観光協会館岩観光センター 0241-78-2546
6月28日(日)	三ツ岩岳山開き	南会津町伊南	南会津町大桃 三ツ岩岳登山口	南会津町観光協会伊南支部 0241-76-2214
6月28日(日)	浅草橋山開き	只見町		只見町役場産業振興課交流推進班 0241-82-5240
7月4日(土)	会津駒ヶ岳夏山開き・夜祭り	檜枝岐村		尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
7月5日(日)	燧ヶ岳夏山開き	檜枝岐村		尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432



発行: 只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村・只見町)
発行日: 3月15日発行(年5回発行) 事務局: 〒968-0421 福島県南会津郡只見町役場 総務企画課企画班内 TEL.0241-82-5220
<http://www.okuaizu.net> 編集: 奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。